

平成 24 年度 第 40 回木戸杯 兵庫県学生バスケットボール優勝大会 男子決勝

関西学院大学 A	88	21	-	18	73	甲南大学 A
		25	-	19		
		18	-	20		
		24	-	16		

昨年度 3 位の甲南大学とインカレを控えた関西学院の対戦。第 1Q、関西学院ボールで試合開始。開始直後、甲南大#0 田中がジャンプシュートを決める。甲南大は序盤からチームファウルがかさむ。関学大#0 高橋は落ち着いてフリースローを 2 本決めていく。また関学大は#0 高橋が攻守ともに活躍し、得点を重ねていく。対する甲南大は#34 沖本のゴール下、#3 田口の 3 ポイントシュートでくらくらいつこうとする。しかしディフェンスリバウンドで粘る関学大がペースをつかみ、#11 佐藤が連続得点していく。対する甲南大はラスト 1 分、ターンオーバーが目立ち得点に結びつけることが出来ず、21 対 18 の関学大リードで第 1Q 終了。

第 2Q、関学大は#7 渡邊の 3 ポイントシュートで流れをつかむ。対する甲南大は焦りからミスが目立つようになる。しかし甲南大は#0 田中の 3 ポイントシュート、#9 大和のミドルシュートでじわじわ追い上げていく。さらに甲南大は#74 山本のバスケットカウントで勢いづき、流れは甲南大に傾いた。対する関学大はリバウンドから速攻し、走るバスケットでペースを取り戻し、46 対 37 関学大リードで前半を折り返す。

第 3Q、甲南大#34 沖本のゴール下シュートでスタートする。対する関学大はノーゴールが続き、攻めあぐんでしまう。その状態を抜け出そうと関学大は#9 西が奮闘し、徐々に得点に結びつけていく。その流れを止めようとする甲南大は関学大からファウルを誘発し、フリースローで確実に点差を縮めていく。最大リードが 10 点という緊迫した状態のまま、64 対 57 関学大リードで第 3Q は終了する。

第 4Q、ここでいっきに点差をつけたい関学大は#3 川嶋のアシストによりインサイドが得点を量産していく。対する甲南大は流れを変えようとタイムアウトをとるが、差は縮まらない。甲南大は#74 山本の 1on1、#3 田口のミドルシュートで応戦するが、関学大の勢いを止めることは出来ず、88 対 73 で関学大が勝利した。